

### 3 事業報告書

## 事業報告書

令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

#### (1) 農作物共済関係

(引 受)

△印 減

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金又は納入保険料(B)	手持共済掛金(A)±(B)
5	水 稲	人 22,391	a 1,279,811.6	円 10,241,593,653	円 57,698,265	円 57,426,047	円 115,124,312
	前年対比	△1,863	△116,333.9	△890,956,050	△5,352,422	△5,325,712	△10,678,134
	麦	20	5,559.8	1,594,454	13,882	13,376	27,258
	計	(延) 22,411 (実) 22,393	1,285,371.4	10,243,188,107	57,712,147	57,439,423	115,151,570
6	麦	17	5,103.2	1,522,787	12,944	12,471	25,415
	前年対比	△3	△456.6	△71,667	△938	△905	△1,843

年産	共済目的	計画達成率 面積	農林統計 引受率	10a当たり平均		1組合員当たり		平均単位当たり共済金額 (kg 当たり)
				基準 収穫量	農家負担 掛 金	引 受 面 積	農家負担 掛 金	
5	水稲	% 101.0	% 59.4	kg 504	円 451	a 57	円 2,577	円 195.88
	麦	83.7	15.5	182	25	278	694	19.70
6	麦	87.7	12.8	194	25	300	761	19.16

#### 引受の概要

(水稲)

水稲の引受面積は、農家の高齢化による離農や農業経営収入保険への移行により、引受面積は約1,163ha減少した。

県内の作付面積21,543haに対する引受率は59.4%、共済金額は102億4,159万円(対前年比92.0%)となった。

(麦)

麦の引受面積は、作付けを中止及び規模縮小する農家があったことや農業経営収入保険への移行により、引受面積は約4.6ha減少した。

県内の作付面積400haに対する引受率は12.8%、共済金額は152万円(対前年比95.5%)となった。

(被害)

△印 減

共 済 目 的	被害組合員数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金	平 均 共 済 金		
				共 済 金 額	10アール当たり	1 組合員当たり	
水 稲	人 677	a 21,580.4	円 38,999,468	% 0.4	円 18,072	円 57,606	
麦	6	593.5	56,656	3.6	955	9,443	
計	延 683	22,173.9	39,056,124	-	-	-	
前年	水 稲	△ 424	△ 15,048.9	△ 29,619,638	△0.2	△661	△4,718
対比	麦	0	118.4	29,489	2.0	383	4,915

被害の概要

(水 稲)

幼穂形成期の7月上・中旬は日照不足で推移したため、一部地域でいもち病の被害が発生した。

7月中旬からの記録的な高温や少雨の影響により、一部地域では水不足による生育不良が発生した。8月中旬の台風7号等の影響で倒伏による穂発芽の被害が発生した。

獣害は、主にシカ・イノシシ等による食害及び踏み荒らしが全域で発生し、鳥害は早生品種を中心にスズメによる食害が発生した。

虫害では、ジャンボタニシによる食害や、セジロウンカによる生育不良が発生した。

( 麦 )

幼苗期の降雨で土壌の湿潤による土中の酸素欠乏により生育不良となる土壌湿潤害が発生した。

獣害については、シカによる生育初期の新芽の食害、イノシシによる乳熟期の食害や踏み荒らしが発生した。

病害虫の発生状況については、収量に大きな影響を及ぼす発生は確認されなかった。

(支 払)

共 済 目 的	支 払 月 日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 金 共 済 金
			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
水 稲	令和5年12月20日、22日 令和6年3月14日、29日	円 38,999,468	円	円	円	円	円	% 100.0
麦	令和5年8月30日	56,656						
計		39,056,124	0	39,056,124	0	0	0	100.0

(損害防止)

獣害対策として、「防護ネット（使用済みのり網）」の斡旋を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

△印 減

区 分	項 目	組 合 員 数	有 資 格	事 業 計 画	引 受	引 受 頭 数	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	納 入 保 険 料	交 付 金	手 持 共 済 掛 金	
			頭 数	頭 数	頭 数	事業計画頭数						%
死 亡 廃 用	搾 乳 牛	}	人	頭	頭	頭	%	千円	円	/	/	/
			89	5,820	7,463	7,466	100.0	1,918,207	50,956,175			
	育 成 乳 牛	}	}	頭	頭	頭	%	千円	円			
				2,457	5,033	4,984	99.0	1,048,238	7,991,519			
	子牛等(内数)	}	}	(545)	(407)			0				
				4,688	5,355	4,686	87.5	1,339,373	5,840,967			
	繁 殖 用 雌 牛	}	}	頭	頭	頭	%	千円	円			
				23,266	36,736	37,294	101.5	14,824,554	46,825,303			
	育 成 ・ 肥 育 牛	}	}	(4,629)	(4,680)			0				
				4	4,875	4,149	3,893	93.8	193,085			
種 豚	}	}	頭	頭	頭	%	千円	円				
			5	36,313	24,811	25,239	101.7	241,217	27,299,488			
肉 豚	}	}	頭	頭	頭	%	千円	円				
			1	2	2	100.0	230	6,162				
肉 用 種 種 雄 牛			2	2								
計	(実 462)	548	77,421	83,549	83,564	100.0	19,564,904	148,930,715				
前 年 対 比		△ 51	△ 2,374	153	△ 1,432		△ 2,326,899	△ 18,626,721				
疾 病 傷 害	乳 用 牛	100	8,277	8,388	7,507	89.5	308,440	63,144,475				
	肉 用 牛	469	27,954	22,166	15,267	68.9	418,198	48,067,613				
	種 豚	1	4,875	2,459	2,105	85.6	13,736	7,729,799				
	肉 用 種 種 雄 牛	1	2	2	2	100.0	80	3,508				
計	(実 475)	571	41,108	33,015	24,881	75.4	740,454	118,945,395				
前 年 対 比	△ 47	1,510	504	△ 8,725			371,589	18,256,478				
合 計	(実 484)	1,119	77,421				20,305,358	267,876,110				
							0	236,475,265	504,351,375			

※有資格頭数は、令和6年2月1日現在。

引受の概要

令和5年度は依然として畜産経営に厳しい状況が続いており、酪農家や和牛繁殖農家の廃業がみられた。死亡廃用共済では、搾乳牛及び育成乳牛で企業経営体の畜舎の増築による期中増額があったが、全体的には飼養頭数の減少がみられ、前年対比で搾乳牛は177頭増加したが、共済金額は約6億7,342万円減少、育成乳牛では67頭、共済金額で約4,034万円減少した。繁殖用雌牛では、343頭、共済金額で約2億6,870万円減少した。育成・肥育牛では、大幅な減少がみられ、引受頭数774頭、共済金額で約12億9,441万円減少した。

種豚、肉豚においても引受頭数、共済金額ともに減少した。疾病傷害共済では、危険段階別共済掛金率設定改正後、初めての引受けとなり、共済金額は前年度に対し200.7%の引受けとなったが、肉用牛において企業経営体の加入中止、全体的な飼養頭数の減少による引受頭数の減少がみられた。前年対比で、乳用牛は引受頭数が1,223頭減少したが、共済金額は約1億3,333万円増加した。肉用牛においても7,148頭減少したが、共済金額は約2億3,892万円増加した。種豚は頭数で354頭、共済金額で約67万円の減少となった。

(事 故)

区 分	項 目	死 亡 廃 用 共 済				
		死 亡 頭 数	法 令 殺 頭 数	廃 用 頭 数	総 頭 数	支 払 共 済 金
搾 乳 牛	頭	338	0	181	519	128,296,158
	頭	159	0	5	164	8,900,030
育 成 乳 牛	頭	(140)	(0)	(0)	(140)	
	頭	64	0	14	78	16,610,977
繁 殖 用 雌 牛	頭	713	0	31	744	66,082,142
	頭	(632)	(0)	(0)	(632)	
育 成 ・ 肥 育 牛	頭	200	0	0	200	9,078,300
	頭	3,887	0	0	3,887	37,111,099
種 豚	頭	0	0	0	0	0
	頭	5,361	0	231	5,592	266,078,706
肉 豚	頭	△ 488	0	△ 22	△ 510	△ 44,748,246
肉 用 種 種 雄 牛	頭					
計						
前 年 対 比						

事故の概要

(死廃事故)

牛では、前年対比で搾乳牛で58頭、支払共済金は約2,755万円の減少、育成乳牛で41頭、約1,235万円の減少と乳用牛への支払いが大きく減少。繁殖用雌牛においても18頭、約370万円の減少となったが、育成・肥育牛では支払いが169頭、約219万円の増加となった。種豚では19頭、約30万円の減少。肉豚では543頭、約303万円減少した。

△印 減

区 分	項 目	疾 病 傷 害 共 済	
		件 数	支 払 共 済 金
乳 用 牛	件	8,272	120,221,601
	件	11,442	125,222,130
肉 用 牛	件	1,511	6,706,386
	件	21,225	252,150,117
計		△ 1,926	△ 23,962,232
前年対比			

(病傷事故)

前年に比べ乳用牛の支払いは647件、支払共済金は約1,672万円減少した。肉用牛でも247件減少したが、支払共済金は約77万円増加した。種豚の事故は1,032件、約801万円、大きく減少した。

## (損害防止)

実施種目		対象頭数	経費概算	摘要
特定損害防止事業		993頭	4,072,120円	乳用牛:牛伝染性リンパ腫 477頭 肉用牛:牛伝染性リンパ腫 516頭
一 般 診 療 所 実 施 防 止	家畜共済 事故低減指導事業	564頭	1,945,000円	乳用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 444頭 肉用牛:代謝プロファイルテストによる飼育管理、疾病予防指導 120頭
	計	564	1,945,000	
一 般 診 療 所 実 施 防 止	家畜共済 畜舎消毒事業	11,784頭	686,610円	動力噴霧機 延10,694頭(延266戸) 煙霧機 延1,090頭(延9戸)
	計	11,784	686,610	

## (診療所)

診療所名	獣医師数	有資格頭数	加入頭数	診療件数		損害防止事業(診療所実施)			その他		摘要
				共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	予防注射	人工授精	
東 広 島	4人	5,063頭	2,630頭	1,464件	1,484件	28頭	115頭	620,590円	1,605頭	277件	
北 広 島	8人	4,504頭	4,817頭	3,833件	4,989件	275頭	53頭	1,216,830円	4,377頭	1,053件	
府 中	9人	18,868頭	9,001頭	3,890件	5,075件	135頭	372頭	1,812,220円	6,014頭	532件	
庄 原	7人	4,719頭	4,385頭	3,972件	5,095件	55頭	104頭	659,490円	6,393頭	900件	
三 次	3人	7,954頭	4,048頭	2,790件	2,556件	71頭	349頭	1,707,990円	2,288頭	359件	
計	31人	41,108頭	24,881頭	15,949件	19,199件	564頭	993頭	6,017,120円	20,677頭	3,121件	

## (3) 果樹共済関係

(引 受)

△印 減

果樹区分	項目 年産	組合員数		引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
		延	実						
うんしゅ	(減収総合一般)	令和6年産計 A	238	170	2,253.3	29,030,000	268,230	168,214	436,444
		令和5年産計 B	254	183	2,394.6	32,113,000	308,278	193,353	501,631
		前年対比 A-B	△16	△13	△141.3	△3,083,000	△40,048	△25,139	△65,187
		参考	1組合員当たり		13.3	170,765			
	参考	10アール当たり			128,833				
うみかん	(災害収入)	令和6年産計 A	77	77	2,923.9	62,068,000	555,849	337,109	892,958
		令和5年産計 B	93	93	3,596.1	82,108,000	778,668	472,294	1,250,962
		令和4年産計 C	95	95	3,810.5	80,090,000	1,194,470	2,504	1,196,974
		前年対比 A-B	△16	△16	△672.2	△20,040,000	△222,819	△135,185	△358,004
	参考	1組合員当たり			38.0	806,078			
参考	10アール当たり			212,278					
なつみかん	(減収総合一般)	令和7年産計 A	18	18	139.0	1,344,000	8,122	2,775	10,897
		令和6年産計 B	20	20	150.0	1,559,000	9,911	3,388	13,299
		令和5年産計 C	19	19	144.0	1,603,000	13,779	1,626	15,405
		前年対比 A-B	△2	△2	△11.0	△215,000	△1,789	△613	△2,402
	参考	1組合員当たり			7.7	74,667			
参考	10アール当たり			96,691					
指定かんきつ	(減収総合一般)	令和7年産計 A	126	102	1,287.0	23,442,000	218,536	174,583	393,119
		令和6年産計 B	132	106	1,378.9	26,831,000	254,689	203,432	458,121
		令和5年産計 C	138	109	1,442.4	28,395,000	321,903	200,762	522,665
		前年対比 A-B	△6	△4	△91.9	△3,389,000	△36,153	△28,849	△65,002
	参考	1組合員当たり			12.6	229,824			
	参考	10アール当たり			182,145				
	(災害収入)	令和7年産計 A	65	65	3,137.2	87,299,000	803,978	654,945	1,458,923
		令和6年産計 B	78	78	3,997.7	108,093,000	982,350	800,276	1,782,626
		令和5年産計 C	92	92	4,569.3	127,673,000	1,331,916	977,688	2,309,604
前年対比 A-B		△13	△13	△860.5	△20,794,000	△178,372	△145,331	△323,703	
参考		1組合員当たり			48.3	1,343,062			
参考	10アール当たり			278,270					

果樹区分	項目 年産	組合員数		引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
		延	実						
りんご	(減収総合一般)	令和6年産計 A	13	5	376.5	14,535,000	377,341	△118,272	259,069
		令和5年産計 B	22	8	633.8	25,270,000	537,885	△168,536	369,349
		前年対比 A-B	△9	△3	△257.3	△10,735,000	△160,544	50,264	△110,280
	参考	1組合員当たり	/	/	75.3	2,907,000	/	/	/
		10アール当たり	/	/	/	386,056	/	/	/
ぶどう	(減収総合一般)	令和6年産計 A	55	52	1,153.9	129,443,000	391,501	293,506	685,007
		令和5年産計 B	61	58	1,383.8	125,150,000	398,959	299,243	698,202
		前年対比 A-B	△6	△6	△229.9	4,293,000	△7,458	△5,737	△13,195
	参考	1組合員当たり	/	/	22.2	2,489,288	/	/	/
		10アール当たり	/	/	/	1,121,787	/	/	/
	(災害収入)	令和6年産計 A	6	3	515.1	80,651,000	365,300	224,078	589,378
		令和5年産計 B	8	4	1,391.2	186,770,000	845,986	518,630	1,364,616
		前年対比 A-B	△2	△1	△876.1	△106,119,000	△480,686	△294,552	△775,238
参考		1組合員当たり	/	/	171.7	26,883,667	/	/	/
		10アール当たり	/	/	/	1,565,735	/	/	/
なし	(減収総合一般)	令和6年産計 A	19	11	349.3	15,129,000	331,142	△107,998	223,144
		令和5年産計 B	28	14	576.9	21,597,000	402,397	△131,331	271,066
		前年対比 A-B	△9	△3	△227.6	△6,468,000	△71,255	23,333	△47,922
	参考	1組合員当たり	/	/	31.8	1,375,364	/	/	/
		10アール当たり	/	/	/	433,123	/	/	/
収穫共済計		617	503	12,135.2	442,941,000	3,319,999	1,628,940	4,948,939	
前年対比		△79	△61	△3,367.8	△166,550,000	△1,199,124	△561,809	△1,760,933	

(引受の概要：収穫共済)

令和5年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ（はっさく、ネーブルオレンジ、清見、不知火、はるみ、レモン）、りんご、ぶどう、なしの6樹種を対象に半相殺減収総合一般方式、災害収入共済方式の2区分の収穫共済で実施した。

常緑果樹は、新規引受けはあったが、高齢化による栽培規模の縮小、廃園による加入中止、収入保険への移行などにより48人、1,776.9aの減少となった。

落葉果樹は、伐採、廃園、改植等による加入中止、収入保険への移行などにより13人、1,590.9aの減少となった。

令和4年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率及び前年対比（面積）は、うんしゅうみかん（半相殺減収総合一般方式）1.5%、94.1%、うんしゅうみかん（災害収入共済方式）1.9%、81.3%、なつみかん（半相殺減収総合一般方式）3.1%、92.7%、指定かんきつ（半相殺減収総合一般方式）1.9%、93.3%、指定かんきつ（災害収入共済方式）3.1%、78.5%、りんご（半相殺減収総合一般方式）4.3%、59.4%、ぶどう（半相殺減収総合一般方式）4.3%、83.4%、ぶどう（災害収入共済方式）1.9%、37.0%、なし（半相殺減収総合一般方式）2.6%、60.5%となった。

果樹 区分	項目 年度	組合員数		引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A) ± (B)	
		延	実						
樹	うんしゅうみかん	令和5年度計 A	2	2	68.1	7,887,000	16,957	15,680	32,637
		令和4年度計 B	2	2	68.1	8,283,000	18,388	16,973	35,361
		前年対比 A-B	0	0	0.0	△396,000	△1,431	△1,293	△2,724
	参考	1組合員当たり			34.1	3,943,500			
		10アール当たり				1,158,150			
	なつみかん	令和5年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0
		令和4年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0
		前年対比 A-B	0	0	0.0	0	0	0	0
	参考	1組合員当たり			-	-			
		10アール当たり				-			
	指定かんきつ	令和5年度計 A	2	2	46.4	16,485,000	11,292	9,959	21,251
		令和4年度計 B	2	2	53.4	16,190,000	11,495	10,184	21,679
前年対比 A-B		0	0	△7.0	295,000	△203	△225	△428	
参考		1組合員当たり			23.2	8,242,500			
	10アール当たり				3,552,802				
りんご	令和5年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0	
	令和4年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	前年対比 A-B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	参考	1組合員当たり			-	-			
10アール当たり					-				
ぶどう	令和5年度計 A	1	1	9.0	4,822,000	18,155	15,812	33,967	
	令和4年度計 B	2	2	15.0	6,512,000	25,267	21,984	47,251	
	前年対比 A-B	△1	△1	△6.0	△1,690,000	△7,112	△6,172	△13,284	
	参考	1組合員当たり			9.0	4,822,000			
10アール当たり					5,357,778				
なし	令和5年度計 A	0	0	0.0	0	0	0	0	
	令和4年度計 B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	前年対比 A-B	0	0	0.0	0	0	0	0	
	参考	1組合員当たり			-	-			
10アール当たり					-				
樹体共済計		5	5	123.5	29,194,000	46,404	41,451	87,855	
前年対比		△1	△1	△13.0	△1,791,000	△8,746	△7,690	△16,436	
果樹共済計		622	508	12,258.7	472,135,000	3,366,403	1,670,391	5,036,794	
前年対比		△80	△62	△3,380.8	△168,341,000	△1,207,870	△569,499	△1,777,369	

(引受の概要：樹体共済)

令和5年度の引受けは、うんしゅうみかん、なつみかん、指定かんきつ、りんご、ぶどう、令和4年産結果樹面積（参考数値）に対する引受率は、うんしゅうみかん0.04%、指定かんなしの6樹種を対象に実施したが、うんしゅうみかん、指定かんきつ、ぶどうの3樹種での引きつ0.1%、ぶどう0.03%となった。受けとなり、組合員数1人、13aの減少となった。

(被害・支払)

△印 減

果樹区分	項目	年産	被害 組 合 員 数	共 済 金		支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 共 済 金
				共 済 金	共 済 金 額			保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
うんしゅう みかん	(一般)	5	2	円	%	令和6年2月28日	円	円	円	円	円	円	%
				63,430	0.2		63,430					0	
なつみかん	(一般)	5	0	0	0.0	-	0					0	
指定 かんきつ	(一般)	5	2	87,080	0.3	令和5年6月30日	87,080					0	
りんご	(一般)	5	1	24,150	0.1	令和6年2月8日	24,150					0	
ぶどう	(一般)	5	1	155,550	0.1	令和5年12月14日	155,550					0	
なし	(一般)	5	3	207,854	1.0	令和5年12月14日	207,854					0	
うんしゅう みかん	(災害)	4	5	1,045,611	1.3	令和5年11月15日	1,045,611	0	1,045,611			0	100.0
指定 かんきつ	(災害)	5	3	563,079	0.4	令和5年11月15日	563,079	0	563,079			0	100.0
ぶどう	(災害)	5	0	0	0.0	-	0	0	0			0	0.0
計			17	2,146,754	0.3		2,146,754	0	2,146,754	0	0	0	100.0
前 年 対 比			7	615,874			615,874	△77,319	693,193	0	0	0	

(被害の概況)

① 令和5年産 うんしゅうみかん (半相殺減収総合一般方式)

令和5年7月中旬からの干ばつにより、小玉果の被害が発生した。

令和5年8月中旬から黒点病の被害が発生した。

令和5年9月中旬からイノシシによる食害・枝折れの被害が発生した。

令和5年4月中旬から黒星病の被害が発生した。

令和5年7月下旬からサルによる食害が発生した。

令和5年7月下旬から干ばつにより小玉果の被害が発生した。

② 令和5年産 指定かんきつ (半相殺減収総合一般方式)

令和3年10月上旬からの干ばつにより、木が弱り着花不良の被害が発生した。

令和4年12月上旬からイノシシによる食害、枝折れの被害が発生した。

令和3年8月上旬の長雨・日照不足で、着花不良により減少する被害が発生した。

令和3年10月上旬からの干ばつで、着花不良により減少する被害が発生した。

令和4年9月19日の台風14号の強風により果実に風スレの被害が発生した。

令和4年10月中旬からカラス・ヒヨドリによる食害の被害が発生した。

③ 令和5年産 りんご (半相殺減収総合一般方式)

令和5年6月15日の降ひょうにより、傷果の被害が発生した。

令和5年7月下旬からの干ばつにより小玉果の被害が発生した。

令和5年9月上旬からカラスによる食害が発生した。

令和4年1月下旬の寒波の影響により、開花不良、不完全花となる被害が発生した。

令和4年9月19日の台風14号の強風により果実に風スレの被害が発生した。

令和4年10月上旬より、かいよう病の被害が発生した。

令和5年1月下旬の寒波の影響により、枝枯れ、果皮障害、す上がりの被害が発生した。

④ 令和5年産 ぶどう (半相殺減収総合一般方式)

令和5年6月下旬からの日照不足、多湿及び7月上旬の降雨により、シミやサビ果の被害が発生した。



(4) 畑作物共済関係

(引 受)

△印 減

項目 年度	畑作物 区 分	組合員数	引受面積	共 済 金 額	徴収共済掛金	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料	手持共済掛金	農 林 統 計
					(A)	(B)	(A) ± (B)	引 受 率
		人	a	円	円	円	円	%
5	大 豆	35	4,955.8	5,644,140	218,900	△9,820	209,080	12.4
前 年 対 比		△2	△607.4	△579,328	△11,391	△260	△11,651	△1.2

項目 年度	畑作物 区 分	10アール当たり平均		1組合員当たり平均		平均単位当たり
		基 準 収 穫 量	農家負担 掛 金	引 受 面 積	農 家 負 担 掛 金	共 済 金 額 (kg 当 たり)
		kg	円	a	円	円
5	大 豆	95	442	141.6	6,254	145.01
前 年 対 比		△2	28	△8.8	30	

引受の概要

法人等大型農家が農業経営収入保険に移行したことや、作付中止及び大豆から他の作物への転換により、引受面積は49.6ha（対前年比89.1%）、共済金額は564万円（対前年比90.7%）となった。引受率は、県内の作付面積400haに対し、12.4%となった。

(被害)

△印 減

項目 年度	畑作物 区分	被 組 合 員 害 数	被 害 面 積	共 済 金	共 済 金		1 戸 当 た り 平 均		備 考
					共 済 金 額	%	被 害 面 積	共 済 金	
5	大 豆	15 人	2,210.7 a	175,801 円	175,801 円	3.1 %	147.4 a	11,720 円	
前 年 対 比		4	△402.4	36,259		0.9	△90.2	△966	

被害の概要

(大豆)

梅雨明けからの高温・少雨による干害で、水不足となり、生育不良が発生した。

中山間部を中心に生育初期にはシカによる新芽の食害で生育遅延等が発生した。また、子実肥大期から収穫時期にはイノシシによる子実の食害や踏み荒らしの被害が発生した。

(支払)

△印 減

項目 年度	畑作物 区分	支 払 月 日	実 支 払 共 済 金	共 済 金		支 払 財 源			実支払共済金 共 済 金
				保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
5	大 豆	令和6年3月21日	175,801 円	0 円	175,801 円	0 円	0 円	0 円	100.0 %
前 年 対 比			36,259	0	36,259	0	0	0	

## (5) 園芸施設共済関係

(引 受)

△印 減

施設区分	項目		設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(B)	手持共済掛金 (A)±(B)	
	組合員数	引受棟数							
ガラス室 I類	人	棟	m <sup>2</sup>	千円	千円	円	円	円	
	1	1	274	2,039	1,631	1,003	791	1,794	
〃 II類	8	20	6,922	91,115	76,908	20,687	5,695	26,382	
プラスチックハウス I類	0	0	0	0	0	0	0	0	
〃 II類	1,267	4,511	1,110,360	4,515,020	3,773,570	19,813,059	3,583,237	23,396,296	
〃 III類	56	84	105,364	726,769	655,577	859,148	431,504	1,290,652	
〃 IV類	甲	48	108	77,637	697,186	501,297	1,272,642	383,191	1,655,833
	乙	16	37	34,471	520,623	418,509	111,278	45,678	156,956
〃 V類	22	49	47,640	476,293	392,186	310,142	150,877	461,019	
〃 VI類	55	209	35,065	72,098	59,148	720,211	162,192	882,403	
〃 VII類	2	2	2,657	985	913	41,695	4,763	46,458	
計	1,475	5,021	1,420,390	7,102,128	5,879,739	23,149,865	4,767,928	27,917,793	
前年対比	54	166	91,516	759,036	725,031	118,726	△ 481,737	△ 363,011	

施設区分	1 組合員当たり				1 棟当たり		
	棟数	面積	共済金額	農家掛金	面積	共済金額	農家掛金
ガラス室 I類	棟	m <sup>2</sup>	千円	円	m <sup>2</sup>	千円	円
	1	274	1,631	1,003	274	1,631	1,003
〃 II類	3	865	9,614	2,586	346	3,845	1,034
プラスチックハウス I類	0	0	0	0	0	0	0
〃 II類	4	876	2,978	15,638	246	837	4,392
〃 III類	2	1,882	11,707	15,342	1,254	7,804	10,228
〃 IV類	甲	2	1,617	10,444	719	4,642	11,784
	乙	2	2,154	26,157	932	11,311	3,008
〃 V類	2	2,165	17,827	14,097	972	8,004	6,329
〃 VI類	4	638	1,075	13,095	168	283	3,446
〃 VII類	1	1,329	457	20,848	1,329	457	20,848
計	3	963	3,986	15,695	283	1,171	4,611
前年対比	0	28	358	△ 513	9	109	△ 133

## 引受の概要

令和5年度の引受けは、大型農家の未継続や廃業等により減少もあったが、未加入者への戸別訪問や、新規就農者の加入により、引受戸数、引受棟数、引受面積、共済価額、共済金額は増加している。

有資格棟数（令和5年12月組合調査）に対する引受率は57.4%となり、有資格戸数に対する引受率は、70.7%となった。

(被害)

△印 減

項 目 施 設 区 分	被 害			損 害 額	共 済 金									共 済 金 額	
	組 合 員 数	棟 数	附 帯 施 設 数		特 定 園 芸 施 設	附 帯 施 設	施 設 作 業	内 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧 費 用	附 帯 復 旧 費 用	合 計			
ガ ラ ス 室 I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II 類	52	60	1	6,675,986	2,997,994	2,452	0	132,055	2,113,264	145,665	5,391,430	0.1			
〃 III 類	2	2	0	83,452	79,149	0	0	0	0	0	79,149	0.0			
〃 IV 類	甲	6	6	0	153,085	122,467	0	0	0	0	122,467	0.0			
	乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
〃 V 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
〃 VI 類	1	1	0	36,597	29,277	0	0	0	0	0	29,277	0.0			
〃 VII 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
計	61	69	1	6,949,120	3,228,887	2,452	0	132,055	2,113,264	145,665	5,622,323	0.1			
前 年 対 比	△ 112	△ 213	△ 12	△ 54,286,385	△ 43,100,182	△ 376,636	△ 1,029,217	△ 286,145	1,942,530	145,665	△ 42,703,985	△ 0.8			

項 目 施 設 区 分	1 組 合 員 当 たり			1 棟 当 たり		被 害 棟 数						
	棟 数	共 済 金	被 害 率	共 済 金	被 害 率	施 設 本 体	附 帯 施 設	施 設 作 業	内 物	撤 去 費 用	本 体 復 旧 費 用	附 帯 復 旧 費 用
ガ ラ ス 室 I 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス I 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
〃 II 類	1.2	103,681	3.5	89,857	10.7	60	1	0	3	10	3	
〃 III 類	1.0	39,575	0.3	39,575	0.5	2	0	0	0	0	0	
〃 IV 類	甲	1.0	20,411	0.2	20,411	0.4	6	0	0	0	0	0
	乙	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
〃 V 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	
〃 VI 類	1.0	29,277	2.7	29,277	10.3	1	0	0	0	0	0	
〃 VII 類	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	
計	1.1	92,169	2.3	81,483	7.0	69	1	0	3	10	3	
前 年 対 比	△ 0.5	△ 187,174	△ 5.4	△ 89,887	△ 9.1	△ 208	△ 5	△ 25	△ 11	8	3	

## 被害の概要

令和5年度の被害状況は、8月9日、10日の台風6号及び年間を通じた強風により、施設本体、被 令和5年度の特定園芸施設ごとの保険金は5棟となった。また、令和5年度（令和4年度事故分）  
 覆材に被害が発生し、支払対象は55戸、60棟となった。その他、10月27日のひょう害で1戸、2の撤去・復旧費用に係る保険金は11棟で、年間超過損害保険金は発生しなかった。  
 棟、11月18日、12月22日、1月25日の雪害で対象被害は4戸、6棟となった。

また、令和4年12月19日～25日にかけての大雪に係る撤去費用・復旧費用で9戸、13棟に支払った。施設内農作物については、被害がなかった。

(支 払)

実 支 払 共 済 金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 共 済 金 共 済 金
	保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
5,622,323	2,327,379	3,294,944	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

① 建物共済

(引受関係)

△印 減

	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		1棟当たり 平均 共済金額	保 険 料	保 険 手 数 料
			純共済掛金	賦課金			
	棟	円	円	円	円	円	円
	91,453	1,055,957,790,000	645,156,902	434,028,097	11,546,453	370,159,829	123,579,209
前年対比	△3,186	△35,365,650,000	△13,784,227	△10,763,601	15,018	△7,826,508	△ 2,972,794

引受の概要

新規引受けは、棟数707棟、共済金額78億563万円の引受けはあったものの、他共済への移行、無人住宅の増加等により、昨年度に比べ火災共済は棟数2,796棟、共済金額340億4,802万円の減少、総合共済は棟数390棟、共済金額13億1,763万円の減少となった。

引受全体では、棟数3,186棟、共済金額353億6,565万円の減少となった。

(事故関係)

△印 減

	事故棟数	加入 総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金			保 険 金	被 害 率 (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	合 計 (ロ)		
	棟	円	円	円	円	円	%
	1,163	13,229,370,000	309,862,067	107,208,777	417,070,844	125,120,822	3.15
前年対比	357	3,093,610,000	△30,104,332	41,463,044	11,358,712	3,407,468	△ 0.85

事故の概要

事故棟数は、昨年度に比べ357棟増加し、支払共済金も約1,135万円増加した。

火災等の事故は全焼事故が15棟あったものの、支払共済金は約3,010万円減少した。

自然災害の事故は、令和4年の積雪による事故の支払いが多くあったため、支払共済金は約4,146万円増加した。

## (建物共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	保 険 金	被害率 (㊦)/(イ)	支払割合
	棟	円	円	円	%	%
風 呂 か ま ど	1	18,000,000	21,496,000	6,448,800	119.4	5.2
コ ン ロ	3	33,000,000	2,669,485	800,844	8.1	0.6
ス ト ー ブ	2	24,500,000	29,069,600	8,720,880	118.7	7.0
その他の火の粉	1	5,000,000	7,500,000	2,250,000	150.0	1.8
電気配線等の漏電	5	88,000,000	108,296,710	32,489,012	123.1	26.0
その他の電気器具等の加熱等	1	15,000,000	40,000	12,000	0.3	0.0
類 焼	16	159,700,000	76,640,576	22,992,167	48.0	18.4
その他の原因による火災	2	11,000,000	7,356,972	2,207,091	66.9	1.8
火 災 合 計 ①	31	354,200,000	253,069,343	75,920,794	71.4	60.7
前 年 対 比	△ 2	△ 220,450,000	△ 42,573,462	△ 12,772,035	20.0	△ 12.2
水 道 管 凍 結	147	1,979,550,000	5,731,775	1,719,506	0.3	1.4
落 雷	201	3,711,260,000	26,242,106	7,872,556	0.7	6.3
外部からの落下等	67	967,380,000	6,227,674	1,868,283	0.6	1.5
車両の飛び込み	14	200,800,000	2,486,203	745,855	1.2	0.6
給排水設備	64	1,076,930,000	13,532,416	4,059,702	1.3	3.2
盗難による汚毀損	5	97,000,000	100,558	30,166	0.1	0.0
建物内部の車両衝突	8	94,000,000	2,471,992	741,594	2.6	0.6
拡張担保合計②	506	8,126,920,000	56,792,724	17,037,662	0.7	13.6
前 年 対 比	100	1,502,410,000	12,469,130	3,740,699	0.0	2.7
自然災害以外の合計①+②	537	8,481,120,000	309,862,067	92,958,456	3.7	74.3

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	保 険 金	被害率 (ハ)/(イ)	支払割合
	棟	円	円	円	%	%
風 台 風	2	30,000,000	258,861	77,658	0.9	0.1
強 風	10	63,300,000	539,149	161,740	0.9	0.1
大 雨 ・ 豪 雨	3	40,000,000	404,311	121,292	1.0	0.1
風 水 台 風	7	62,100,000	711,379	213,411	1.1	0.2
暴 風 雨	6	114,000,000	781,524	234,456	0.7	0.2
土 砂 崩 れ	1	5,000,000	81,709	24,512	1.6	0.0
雹 害	25	236,000,000	1,767,946	530,372	0.7	0.4
積 雪	571	4,194,850,000	102,643,183	30,792,711	2.4	24.6
そ の 他 の 雪 害	1	3,000,000	20,715	6,214	0.7	0.0
自 然 災 害 合 計 ③	626	4,748,250,000	107,208,777	32,162,366	2.3	25.7
前 年 対 比	259	1,811,650,000	41,463,044	12,438,804	0.1	9.5
地 震	0	0	0	0	0.0	0.0
地 震 等 合 計 ④	0	0	0	0	0.0	0.0
前 年 対 比	0	0	0	0	0.0	0.0
合 計	1,163	13,229,370,000	417,070,844	125,120,822	3.2	100.0
前 年 対 比	357	3,093,610,000	11,358,712	3,407,468	△ 0.8	-

② 農機具共済

(引受関係)

△印 減

	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台 当 たり 平 均 共 済 金 額
			純 共 済 掛 金	賦 課 金	
	台	円	円	円	円
	9,398	21,438,880,000	65,373,438	31,675,337	2,281,217
前 年 対 比	△181	42,620,000	322,927	112,259	47,554

引受の概要

新規引受けは、台数325台、共済金額9億2,507万円の引受けとなった。

引受全体では高齢化等による離農で個人所有の加入農機具の廃棄、売却等があり、台数は181台減少したが、新規加入や法人等の大型農機具の引受けにより、共済金額は4,262万円増加した。

(事故関係)

△印 減

	事故台数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金				被 害 率  (ロ)/(イ)
			火 災 等	風 水 害 等	そ の 他	合 計 (ロ)	
	台	円	円	円	円	円	%
	98	478,610,000	937,830	328,999	35,932,022	37,198,851	7.77
前 年 対 比	△17	3,600,000	△1,065,650	△10,188,943	△7,077,926	△18,332,519	△3.92

事故の概要

事故台数は、昨年度に比べ17台減少し、支払共済金も約1,833万円減少した。

火災等の事故は、物体の落下・飛来で9台、風水害等の事故は、雪害で1台となった。また、その他の事故は、衝突、接触、墜落、転覆及び異物の巻き込み等の稼働中の事故があわせて88台となり、全体の89.8%を占めた。



(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

△印 減

	加入台数	共済金額	減価共済金額	共 済 掛 金				1台当たり 平均 共済金額
				純 共 済 掛 金		賦 課 金	計	
				損 害 部 分	減 価 部 分			
台	円	円	円	円	円	円	円	
	1	4,720,000	4,720,000	13,971	646,640	14,821	675,432	4,720,000
前年対比	△1	△2,140,000	△2,140,000	△6,334	△293,180	△6,720	△306,234	1,290,000

引受の概要

責任期間満了が1台あり、台数で1台、共済金額で214万円の減少となった。

(事故関係)

△印 減

	事故台数	期 間 満 了 台 数	加 入 総 共 済 金 額 (イ)	支 払 共 済 金					被 害 率 (ロ)/(イ)
				事 故 に よ る も の				期 間 満 了 の も の	
				火 災	風 水 害 等	そ の 他	計 (ロ)		
台	台	円	円	円	円	円	円	%	
	0	1	2,140,000	0	0	0	0	2,140,000	0.0
前年対比	0	0	440,000	0	0	0	0	440,000	0.0

事故の概要

責任期間満了により、1台、214万円の支払いとなった。また、今年度の事故発生はなかった。

## (8) 農業経営収入保険関係

(引 受)

△印 減

経営形態	加入 経営体	基準収入	保険金額	補填対象金額	納入保険料等			
					保険料	積立金	事務費	合計
	経営体	円	円	円	円	円	円	円
個人	1,206	6,789,799,081	4,723,565,299	574,773,452	49,317,947	143,693,780	14,270,749	207,282,476
法人	288	7,565,348,210	5,425,861,756	645,191,000	57,278,066	161,297,857	13,114,310	231,690,233
計	1,494	14,355,147,291	10,149,427,055	1,219,964,452	106,596,013	304,991,637	27,385,059	438,972,709
前年対比	80	59,314,800	28,228,478	4,504,456	△2,559,943	1,126,137	81,983	△1,351,823

## 引受の概要

令和5年度の引受けは、未継続や廃業等により減少もあったが、未加入者への個別訪問により前年度に比べて80経営体の増加となった。

1経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約563万円、法人経営体で約2,627万円となり、主な対象品目は、水稻、野菜、果樹、花きなどとなっている。

(支 払)

△印 減

経営形態	補 填 金				つ な ぎ 資 金	
	経営体数	保険金	特約補填金	合計	経営体数	貸付金額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個人	384	148,925,183	142,134,078	291,059,261	17	32,810,000
法人	114	168,117,776	179,615,902	347,733,678	9	84,150,000
計	498	317,042,959	321,749,980	638,792,939	26	116,960,000
前年対比	160	△85,126,181	△9,374,211	△94,500,392	△2	△65,870,000

## 被害の概要

令和4年7月上旬から8月上旬にかけて、高温多湿による生育不良やいもち病が発生した。また、7月中旬からの局地的豪雨が発生し、県内各地で河川からの土砂流入や冠水の被害を起こした。9月には台風11号と14号の影響による被害が発生し、イノシシ・シカによる食害などで収穫量や販売数量が減少した。

(9) 業務関係  
ア 重要な処理事項

月 日	行 事 内 容	場 所
令和5年		
4月4日～6日	新任職員研修会	広島市
4月14日	収穫園芸担当課長等会議	〃
4月18日	決算監査(北広島家畜診療所)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
4月19日	広島県農業共済研修基金運用委員会	広島市
4月20日	決算監査(府中家畜診療所)	福山市
〃	〃 (福山支所)	〃
4月25日	〃 (家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
4月28日	部長・室課長・支所長会議	広島市
〃	「安心の未来」拡充運動表彰審査委員会	〃
5月10日	収入保険担当課長等会議	〃
5月11日	決算監査(三次支所)	三次市
〃	〃 (三次家畜診療所)	〃
〃	〃 (庄原家畜診療所)	〃
5月12日	農作物共済・畑作物共済事務講習会	広島市
5月15日～16日	決算監査(本所)	〃
5月22日	余裕金運用管理委員会	〃
〃	コンプライアンス責任者会議	広島市他
5月23日	役員推薦会議	広島市
〃	家畜共済特定損害防止事業担当者会議	広島市他
5月24日	広報委員会議	広島市
5月25日	任意共済担当課長等会議	〃
5月26日	果樹共済・園芸施設共済事務講習会	〃
5月29日	情報セキュリティ委員会	〃
5月31日	理事会	〃
6月1日	任意共済事務講習会	〃
6月2日	収入保険オンライン申請サポート等に係る研修会	〃
6月14日	広島県農業保険推進協議会 第4回通常総会	〃
6月15日、16日、19日	コンプライアンス研修会	広島市他
6月21日	第10回通常総代会	広島市
6月22日	内部監査・情報セキュリティ監査(府中家畜診療所)	府中市
6月23日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
6月26日	内部監査・情報セキュリティ監査(家畜臨床研修所・東広島家畜診療所)	東広島市

月 日	行 事 内 容	場 所
6月27日	家畜共済担当課長等会議	広島市
6月28日	家畜診療所長会議	〃
6月29日	内部監査・情報セキュリティ監査(江田島連絡所)	江田島市
6月29日～30日	初級職員研修会	広島市
6月30日	内部監査・情報セキュリティ監査(東広島支所)	東広島市
7月3日	理事会	広島市
〃	監事協議会	〃
7月4日	一般職員研修会Ⅱ	〃
7月7日	損害評価会	〃
7月10日	内部監査・情報セキュリティ監査(三次家畜診療所)	三次市
〃	〃 (庄原家畜診療所)	庄原市
7月13日	〃 (北広島家畜診療所)	北広島町
7月19日	収入保険事務講習会(北広島支所)	〃
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(府中出張所)	府中市
7月20日	〃 (福山支所)	福山市
7月27日～28日	中国地区広報担当者会議	広島市
7月31日	理事会	〃
〃	監事会	〃
〃	役員研修会	〃
8月2日	家畜診療所運営委員会	〃
〃	再雇用職員研修会	〃
8月3日	中堅職員研修会	〃
8月4日	一般職員研修会Ⅰ	〃
8月7日	園芸施設共済損害評価現地研修会	東広島市
8月8日	内部監査・情報セキュリティ監査(廿日市出張所)	廿日市市
〃	収入保険事務講習会(福山支所)	福山市
8月9日	〃 (三次支所)	三次市
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(北広島支所)	北広島町
8月10日	〃 (三次支所)	三次市
8月17日	収入保険事務講習会(東広島支所)	東広島市
8月18日	農作物共済(水稲)損害評価現地研修会	〃
〃	内部監査・情報セキュリティ監査(収入保険課)	広島市
8月21日	〃 (企画情報課)	〃
〃	損害評価会 農作物共済部会	〃
8月22日	内部監査・情報セキュリティ監査(建物農機具課)	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
8月23日	内部監査・情報セキュリティ監査(収穫園芸課)	広島市
8月25日	〃 (家畜課)	〃
8月30日	監事研修会	〃
8月31日	果樹共済(落葉果樹)損害評価現地研修会	庄原市
9月1日	内部監査・情報セキュリティ監査(経理課)	広島市
9月4日	〃 (総務課)	〃
〃	家畜共済事務講習会	〃
9月5日	情報セキュリティ監査(監査室)	〃
9月6日	収入保険事務講習会(本所)	〃
9月7日	任意共済損害評価講習会	〃
9月8日	部長・室課長・支所長会議	〃
9月13日	余裕金運用管理委員会	〃
9月20日	理事会	〃
〃	監事会	〃
9月25日	果樹共済(常緑果樹)損害評価現地研修会	呉市
10月4日	広報委員会議	広島市
〃	家畜診療所長会議	〃
10月12日	園芸施設共済加入推進会議	〃
10月25日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長会議	〃
10月26日	初級管理職研修会	〃
10月27日	管理職研修会	〃
10月30日	中間監査(臨研・東広島診)	東広島市
〃	〃 (東広島支所)	〃
10月31日	畑作物共済(大豆)損害評価現地研修会	府中市
11月2日	中間監査(府中出張所)	〃
〃	〃 (府中診)	〃
11月6日	〃 (福山支所)	福山市
〃	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	広島市
11月7日	収入保険担当課長会議	〃
11月8日	中間監査(廿日市出張所)	廿日市市
11月14日	〃 (北広島診)	北広島町
〃	〃 (北広島支所)	〃
11月16日	〃 (三次支所)	三次市
〃	〃 (三次診)	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
11月16日	中間監査(庄原診)	庄原市
11月17日	余裕金運用管理委員会	広島市
11月20日	農作物共済(水稲)に係る損害評価等検討会	〃
11月21日～22日	中間監査(本所)	〃
11月24日	理事会 総務委員会	〃
12月1日	理事会	〃
〃	監事会	〃
12月4日	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
12月8日	内部監査(三次診)	三次市
〃	〃 (庄原診)	庄原市
12月11日	〃 (府中診)	府中市
12月12日	損害評価会 農作物共済部会	広島市
12月13日	内部監査(臨研・東広島診)	東広島市
12月14日	家畜診療所長会議	広島市
12月15日	任意共済研修会	〃
〃	内部監査(北広島診)	北広島町
12月18日	〃 (三次支所)	三次市
12月19日	部長・室課長・支所長会議	広島市
〃	情報セキュリティ委員会	〃
12月20日	内部監査(府中出張所)	府中市
12月21日	〃 (福山支所)	福山市
12月25日	〃 (江田島連絡所)	江田島市
12月26日	〃 (東広島支所)	東広島市
令和6年		
1月11日	内部監査(廿日市出張所)	廿日市市
1月12日	〃 (北広島支所)	北広島町
1月18日	〃 (企画情報課)	広島市
1月19日	〃 (収入保険課)	〃
1月22日	〃 (家畜課)	〃
1月24日	〃 (収穫園芸課)	〃
〃	任意共済担当課長等会議	〃
1月26日	収穫園芸担当課長等会議	〃
〃	内部監査(建物農機具課)	〃
1月29日	〃 (経理課)	〃
〃	家畜共済担当課長等会議	〃

月 日	行 事 内 容	場 所
1月31日	内部監査(総務課)	広島市
〃	損害評価会 果樹共済落葉果樹部会	〃
2月7日	家畜診療技術講習会	〃
2月9日	部長・室課長・支所長会議	〃
2月19日	役員推薦会議	〃
2月20日	理事会 事業委員会	〃
〃	理事会 総務委員会	〃
2月21日	損害評価会 果樹共済常緑果樹部会	〃
2月28日	理事会	〃
〃	監事会	〃
2月29日	収入保険担当課長会議	〃
3月1日	損害評価会 家畜共済部会	〃
3月5日	広報委員会議	〃
3月6日	コンプライアンス責任者会議	〃
〃	部長・室課長・支所長・所長会議	〃
3月7日	損害評価会 農作物共済部会	〃
3月11日	コンプライアンス改善委員会	〃
〃	中国四国地区事務機械化情報交換会	〃
〃	損害評価会 畑作物共済部会	〃
3月13日	家畜診療所長会議	〃
3月15日	臨時総代会	〃
3月18日	余裕金運用管理委員会	〃
〃	損害評価会 任意共済部会	〃
3月19日	広島県農業保険推進協議会 臨時総会	〃
3月25日	「未来へつなぐ」サポート運動実践企画会議	〃
〃	損害評価会 農作物共済部会	〃
3月27日	理事会	〃
〃	監事会	〃

イ 総代会  
 (ア) 通常総代会  
 (令和5年6月21日)

総代会日現在総代数 (A)	152人	出席率	
本人出席 (B)	55人	(B) / (A)	36.18%
代理出席	0人		
書面出席	95人		
出席者計 (C)	150人	(C) / (A)	98.68%

重要な議事及び議決事項

1. 令和4年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案について
2. 令和5年度事業計画設定について
3. 令和5年度事務費賦課額及び賦課方法について
4. 令和5年度役員報酬、顧問料、損害評価会委員、損害評価会支所委員、家畜診療所運営委員、損害評価員及び共済委員等の手当支給額について
5. 令和5年度における借入金の最高限度額について
6. 令和5年度余裕金預入先決定について
7. 農作物共済危険段階別共済掛金率の設定について
8. 園芸施設共済危険段階別共済掛金率の設定について
9. 定款の一部変更について
10. 事業規程の一部変更について
11. 実施体制の改善計画の策定について
12. 農業共済事業のニーズ調査に係る取組状況について
13. 損害評価会委員及び損害評価会支所委員の選任について
14. 家畜診療所運営委員の委嘱について
15. 役員を選任について

(イ) 臨時総代会  
 (令和6年3月15日)

総代会日現在総代数 (A)	151人	出席率	
本人出席 (B)	12人	(B) / (A)	7.95%
代理出席	0人		
書面出席	136人		
出席者計 (C)	148人	(C) / (A)	98.01%

重要な議事及び議決事項

1. 園芸施設共済危険段階別共済掛金率の設定について
2. 事業規程の一部変更について
3. 職員給与規則の一部改正について
4. 職員退職給与規則の一部改正について
5. 役員候補の補欠選任について



ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
59,789人	56,941人	△2,848人	

エ 役職員その他

(ア) 役職員

役員数	理 事						監 事		合 計		
	常勤 0人		非常勤 13人		計 13人		3人		16人		
職員数	事項 性別	参 事	監 査 室	事 業 部			家 畜 部	総 務 部			計
				農 作 物 畑 作 物 果 樹 園芸施設	任 意	収 入 保 険	家 畜	総 務	経 理	企 画 情 報	
	男	人 1	人 2	人 6	人 4	人 2	人 25	人 4	人 2	人 3	人 49
	女	人 1	人 1	人 1	人 1	人 1	人 12	人 2	人 2	人 2	人 22
	計	1	3	7	5	3	37	6	4	5	71
数	事項 性別	北広島 支 所	東 広 島 支 所	福 山 支 所	三 次 支 所	計					計
	男	25	17	15	16	73					122
	女	7	5	9	3	24					46
	計	32	22	24	19	97					168

(イ) 職員勤務場所

	本 所	支 所 等	臨床研修所	診 療 所	計
男	28 人	73 人	1 人	20 人	122 人
女	12 人	24 人		10 人	46 人
計	40 人	97 人	1 人	30 人	168 人

(ウ) 総代、共済委員、NOSA I 部長、損害評価会委員、損害評価会支所委員、損害評価員

総 代	共 済 委 員	N O S A I 部 長	損 害 評 価 会 委 員	損 害 評 価 会 支 所 委 員	損 害 評 価 員
151 人	5,998 人	135 人	45 人	185 人	835 人

(10) その他

- ア 決算日後に生じた組合の状況に関する重要な事実  
該当事項はなし